

令和4年度

事業概要



流山市 主要地方道 越谷流山線



野田市 主要地方道 境杉戸線

千葉県東葛飾土木事務所



<表紙・写真>

上:主要地方道 越谷流山線
〔交付金事業(地方道道路改築事業)〕

下:主要地方道 境杉戸線
〔交付金事業(社会資本整備総合交付金事業)〕

目次

沿	革	1
管内の概要		2
組織機構		2
事務分掌		3
令和3年度決算		5
令和4年度予算		7
主要事業の概要		9
(1) 地方道道路改築事業	主要地方道 越谷流山線	9
(2) 社会資本整備総合交付金事業	主要地方道 境杉戸線	11
(3) 県単道路改良事業	国道464号栗野バイパス線	12
(4) 社会資本整備総合交付金事業	松戸都市計画道路 3・4・16号葛飾橋矢切線	13
(5) 公共街路事業	野田都市計画道路 3・4・20号今上木野崎外2線	15
(6) 社会資本整備総合交付金事業	鎌ヶ谷都市計画道路 3・4・5号船橋我孫子バイパス線	16
(7) 防災・安全交付金事業(歩道)	一般県道 白井流山線	17
(8) 防災・安全交付金事業(歩道)	主要地方道 千葉鎌ヶ谷松戸線	18
(9) 県単交通安全対策事業	主要地方道船橋我孫子線外	19
(10) 防災・安全交付金事業(電共)	一般県道 白井流山線	20
(11) 河川管理施設機能確保事業	一級河川利根川水系 坂川 外	21
管内道路		23
道路現況調		24
管内河川		25
河川現況調		26
急傾斜地崩壊危険区域指定箇所		28
土砂災害警戒区域等の指定		28
国有土地、道路及び河川等占使用許可状況		31
用地等取得状況		32
管内市紹介(松戸市、野田市、流山市、鎌ヶ谷市)		33
土木遺産		35
関係官公庁		37
関係協議会等		38
歴代所長		39

沿革

明治	33年	3月31日	千葉県告示第80号をもって千葉県第3工区（東葛飾郡）を創設、東葛飾郡役所内に置く。
大正	3年	3月17日	千葉県告示第66号を以って千葉県松戸工区と改称。
昭和	4年	5月21日	千葉県告示第196号を以って千葉県松戸出張所と改称。
昭和	10年	4月1日	松戸土木出張所管内に中山、野田、柏派出所を設置。
昭和	32年	11月16日	千葉県規則第68号を以って庶務課、工務課の2課制となる。
昭和	37年	4月1日	管理用地課及び建築課を増設。
昭和	38年	4月1日	道路補修課を増設し、庶務課、管理用地課、建築課、工務課の5課制となる。
昭和	39年	4月1日	千葉県規則第16号を以って県内14土木出張所を10土木事務所と8出張所に改組し、これに伴い当出張所を東葛飾土木事務所と改称。 中山派出所を京葉土木事務所船橋出張所と改称し、船橋市、市川市、浦安町を当管内から分離。庶務課、工務課及び道路補修課の各課を総務課、工務第一課及び工務第二課に改称。
昭和	47年	4月1日	都市工務課を増設。
昭和	50年	4月1日	管理用地課を管理課及び用地課に分課。 工務第一課、工務第二課を設課及び維持課に改称。
昭和	53年	4月1日	開発指導課を増設。
昭和	56年	4月1日	派出所を支所と改め、野田支所及び柏支所となる。
昭和	57年	4月1日	昭和56年10月台風24号の被災による坂川災害復旧助成事業を施行のため坂川改修課を増設。
昭和	58年	4月1日	東葛飾都市計画事務所の創設により、建築課、開発指導課及び都市工務課を分離。
昭和	60年	4月1日	坂川災害復旧助成事業の完成に伴い、坂川改修課を廃止。 総務課、管理課、用地課、建設課、維持課の5課及び野田支所、柏支所の2支所となる。
平成	2年	4月1日	管理課を管理第一課及び管理第二課に分離、用地課を用地班に改称。
平成	6年	4月1日	建設課、維持課を建設班及び維持班に改称。
平成	7年	4月1日	用地班を用地室に改称し、用地第一班、用地第二班を設置。
平成	8年	4月1日	管理第一課、管理第二課を管理第一班及び管理第二班に改称。
平成	11年	4月1日	調整班を増設。
平成	12年	4月1日	管理第一班及び管理第二班を管理課に統合。用地第一班及び用地第二班を用地課に統合。調整班を調整課に、建設班を建設課に、維持班を維持課にそれぞれ改称。
平成	16年	4月1日	東葛飾土木事務所を東葛飾地域整備センターに改称し、野田支所を野田出張所に改称。 柏支所は柏整備事務所（旧東葛飾都市計画事務所）に統合。
平成	23年	4月1日	東葛飾地域整備センターを東葛飾土木事務所に改称。
平成	24年	4月1日	管理課及び用地課を管理用地課に統合。
平成	26年	4月1日	管理用地課を管理課及び用地課に分課。

管内の概要

当事務所は、県の北西部に位置し、管内は、松戸市、野田市、流山市、鎌ヶ谷市の4市からなり、面積は約221平方キロメートル、人口は約96万人です。

西は江戸川を挟み東京都、埼玉県に、また北は利根川を挟み茨城県に接し、県内は柏市、白井市、船橋市、市川市に接しています。

管内の道路網は、国管理の国道6号、16号及び298号を骨格として、県管理の国道464号や主要地方道松戸野田線、船橋我孫子線などの38路線で構成されています。

また、管内の鉄道網はJR常磐線、JR武蔵野線、東武アーバンパークライン、新京成線、北総線、流鉄流山線、つくばエクスプレスと、多くの路線で構築されています。

管内の河川は、国管理の利根川、江戸川など5河川、県管理の座生川、坂川など一級河川13河川及び市管理の準用河川19河川があります。

管内面積と人口

(令和4年4月1日現在)

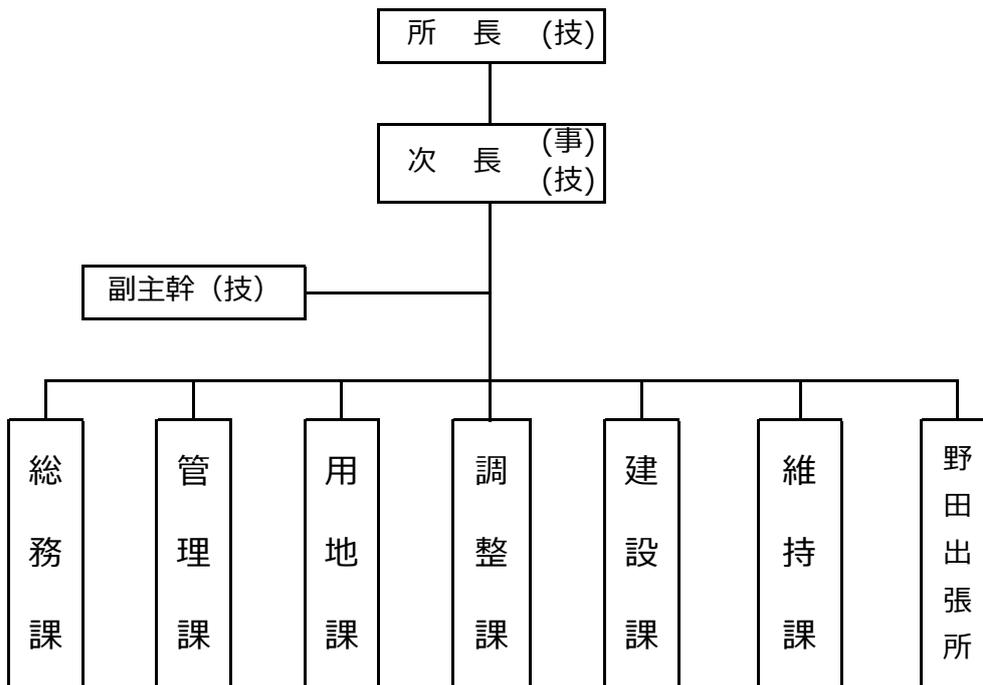
市 町 名	面 積	D I D面積	人 口	人口密度
松 戸 市	61.38 km ²	46.36 km ²	496,540 人	8,089.61 人/km ²
野 田 市	103.55 km ²	16.48 km ²	151,926 人	1,467.18 人/km ²
流 山 市	35.32 km ²	14.97 km ²	206,137 人	5,836.27 人/km ²
鎌ヶ谷市	21.08 km ²	9.68 km ²	109,744 人	5,206.07 人/km ²
計	221.33 km ²	87.49 km ²	964,347 人	4,357.06 人/km ²
千葉県	5,158 km ²	633.96 km ²	6,267,579 人	1,215.12 人/km ²

組織機構

当事務所の組織は、総務課、管理課、用地課、調整課、建設課及び維持課の6課で、野田市に出張所があります。

職員は、事務職員17名、技術職員31名、会計年度任用職員10名、合計58名です。

1. 機構図



2. 職員構成

(令和4年4月1日現在)

職員 所属	所 長	次 長	課 長	出 張 所 長	副 主 幹	主 査	副 主 査	主 事	技 師	任 用 職 員	会 計 年 度	計
	1	2			1							4
総務課							1	3		3		7
管理課			1			1		3		5		10
用地課			1			1	2	3		1		8
調整課			1		1				1			3
建設課			1				4		6			11
維持課			1				2		3			6
野田出張所				1	2		2		2	1		8
計	1	2	5	1	4	2	11	9	12	10		57

事務分掌

- 検査担当副主幹
1. 工事の指導及び検査に関すること。
 2. 設計積算及び積算基準に関すること。
 3. 土木工事の材料等の品質試験、研究及び調査に関すること。
- 総務課
1. 所の総合調整に関すること。
 2. 請負、入札及び契約に関すること。
 3. 建設業の許可及び建設業者の指導監督に関すること。
 4. 機械器具の管理に関すること。
 5. 資材及び物資の需要調達に関すること。
 6. 庶務に関すること。
- 管理課
1. 道路管理に関すること。（維持課において所掌するものを除く。）
 2. 河川、公共用財産管理に関すること。
 3. 急傾斜地崩壊危険区域の管理に関すること。
- 用地課
1. 土地の買収及び補償、収用に関すること。
 2. 登記に関すること。
 3. 不動産の鑑定評価に関すること。

- 調 整 課
1. 工事の企画及び連絡調整に関すること。
 2. 技術に関する所内各課及び関係機関との連絡調整に関すること。
 3. 技術関係の所内研修に関すること。
 4. 工事の安全対策に関すること。
 5. 市町村の国費及び県費補助を伴う土木事業の指導監督等に関すること。
 6. 道路、河川等の調査及び統計に関すること。（他課において所掌するものを除く。）
 7. 建設リサイクル法の届出に関すること。
- 建 設 課
1. 道路、橋梁等の新設、改良及び舗装の工事に関すること。（維持課において所掌するものを除く。）
 2. 道路、橋梁等の新設及び改良に係る技術に関する調査、統計及び報告に関すること。
 3. 河川、砂防、地すべり、急傾斜地崩壊防止施設等の新設、改良及び維持管理に関すること。
 4. 河川等の新設及び改良に係る技術に関する調査、統計及び報告に関すること。
 5. 都市計画道路の工事に関すること。
 6. 河川の愛護奨励に関すること。
- 維 持 課
1. 道路の保守、側溝・歩道の新設に関すること。
 2. 道路及び橋梁の維持補修に関すること。
 3. 交通安全、電線類地中化及び道路排水施設の工事に関すること。
 4. 水防及び災害復旧工事（応急工事を含む。）に関すること。
 5. 道路の愛護奨励に関すること。
 6. 道路及び橋梁の維持補修及び災害復旧に関する調査、統計及び報告等に関すること。
- 野 田 出 張 所
1. 野田市域における建設課、維持課に掲げる事務に関すること。

令和3年度決算

令和3年度一般会計歳入決算額

(単位：円)

科 目	令和3年度決算額	令和2年度決算額
分担金及び負担金	190,076,994	350,668,146
負 担 金	190,076,994	350,668,146
土 木 費 負 担 金	190,076,994	350,668,146
使用料及び手数料	256,809,728	261,197,192
使 用 料	214,055,828	211,982,192
総務使用料	28,600	28,600
土木使用料	214,027,228	211,953,592
手 数 料	42,753,900	49,215,000
証 紙 収 入	42,753,900	49,215,000
財 産 収 入	3,133,750	2,860,050
財 産 売 払 収 入	3,133,750	2,860,050
不 動 産 売 払 収 入	-	-
生 産 物 売 払 収 入	3,133,750	2,860,050
諸 収 入	4,338,420	15,062,204
雑 入	4,338,420	15,062,204
雑 入	4,338,420	15,062,204
合 計	454,358,892	629,787,592

令和3年度一般会計歳出決算額

(単位：円)

科 目	令和3年度決算額	令和2年度決算額
商 工 費	6,215,000	-
観 光 費	6,215,000	-
観 光 費	6,215,000	-
土 木 費	6,417,939,996	6,649,332,495
土 木 管 理 費	16,771,788	13,721,583
土 木 総 務 費	6,728,124	4,870,970
土 木 事 務 所 費	10,006,618	8,445,006
用 地 対 策 費	37,046	405,607
道 路 橋 り よ う 費	4,983,562,726	5,215,890,176
道 路 維 持 費	1,876,994,982	2,192,429,253
道 路 新 設 改 良 費	2,951,173,704	2,785,717,973
橋 り よ う 維 持 費	155,394,040	237,742,950
河 川 海 岸 費	542,656,867	446,334,884
河 川 総 務 費	101,143,401	101,097,842
河 川 改 良 費	281,191,748	301,249,449
砂 防 費	21,708,500	14,724,600
水 防 費	138,613,218	29,262,993
都 市 計 画 費	874,948,615	973,385,852
街 路 事 業 費	874,948,615	973,385,852
合 計	6,424,154,996	6,649,332,495

令和4年度予算

(令和4年4月1日現在)

(単位：百万円)

科 目	令和3年度 繰越額	令和4年度 現年額	計
土 木 費	3,953	4,603	8,556
土 木 管 理 費	0	15	15
土 木 総 務 費	0	5	5
土 木 事 務 所 費	0	8	8
用 地 対 策 費	0	1	1
道 路 橋 り よ う 費	2,379	3,401	5,780
道 路 維 持 費	742	1,704	2,446
舗装道路修繕事業	0	789	789
排水整備事業	18	34	52
交通安全対策事業	142	331	473
災害防止事業	5	0	5
道路調査事業	0	13	13
道路維持事業	0	31	31
電線類地中化整備事業	6	10	16
自転車道環境整備事業	0	13	13
防災安全交付金事業	289	104	393
道路メンテナンス事業	188	175	362
無電柱化推進計画事業	95	20	115
県単道路管理事業	0	77	77
県単道路維持修繕事業	0	103	103
道路維持公共事業付帯	0	4	4
道 路 新 設 改 良 費	1,624	1,570	3,194
地方道道路改築事業	901	415	1,316
県単道路改良事業	304	600	905
道路受託事業	262	280	542
社会資本整備交付金事業	156	270	426
道路改良公共事業付帯事務	0	5	5
橋 り よ う 維 持 費	12	127	139
橋 り よ う 修 繕 事 業	12	127	139

科 目	令和3年度 繰越額	令和4年度 現年額	計
河川海岸費	233	624	857
河川総務費	0	105	105
県単河川管理事業	0	105	105
河川改良費	133	439	572
河川調査事業	0	30	30
河川改良事業	24	65	89
河川維持事業	65	278	343
河川管理施設機能確保事業	43	10	53
県単都市河川管理事業	0	7	7
県単河川環境整備事業	0	49	49
砂防費	45	8	53
砂防整備事業	0	8	8
土砂災害警戒対策事業	45	0	45
水防費	55	73	128
水防事業	55	73	128
都市計画費	1,341	562	1,904
街路事業費	1,341	562	1,904
県単街路整備事業（整備費）	27	315	342
県単街路整備事業（管理費）	0	18	18
公共街路整備事業付帯事務	0	6	6
交付金街路事業	314	130	444
補助街路事業	498	14	512
公共街路整備事業	502	80	582
合 計	3,953	4,603	8,556

※投資的経費と道路・河川の管理に係る消費的経費

※現年額とは令和4年4月時点の予算

※1百万円未満の事業は省略

主要事業の概要

事業名	地方道道路改築事業(道路改良)
路線名	主要地方道 越谷流山線
工事箇所	流山市 下花輪 ~ 同市 三輪野山

本路線は、埼玉、千葉、茨城の3県のつくばエクスプレス沿線地域を結ぶ幹線道路「都市軸道路」の一部を構成するものである。本事業は、埼玉県と協同して江戸川を渡河する(仮称)三郷流山橋 及び取付高架橋等を新設することにより、流山橋等の江戸川渡河部に集中する交通の分散を図り、地域間の連携強化を目的として整備するものである。

本事業の一層の推進を図るため、平成30年度から有料道路事業の許可を取得し、補助事業等との合併施行により令和4年度の完成を目指す。

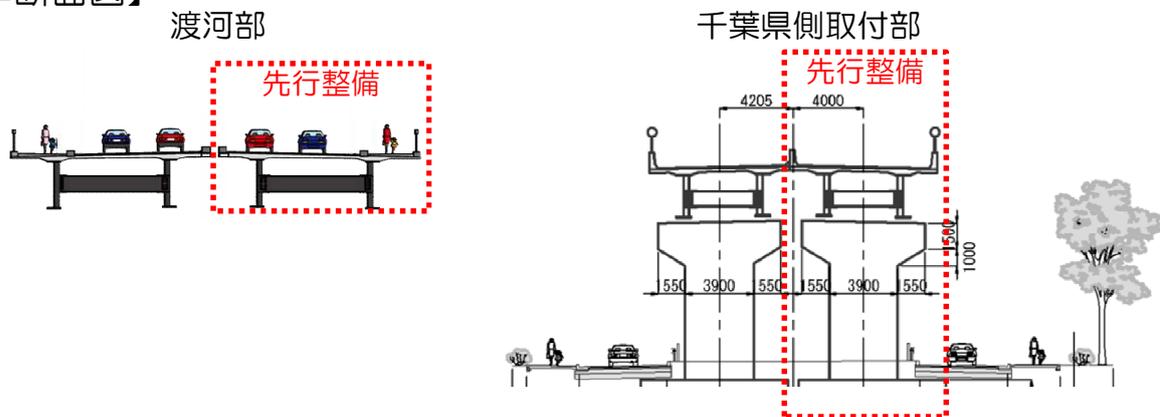
計画概要

全体計画	令和3年度迄実施	令和4年度当初予算
事業延長 1,280m	事業費 9,922百万円	事業費 1,378百万円
幅員 23.8~33.5m (渡河部 23.8m)	橋梁下部工	橋梁付属物工 L=971m
総事業費 11,300百万円	水路切回工	道路改良工 L=980m
計画年度 平成25~令和4年度	橋梁上部工	舗装工 A=8900㎡

【位置図】

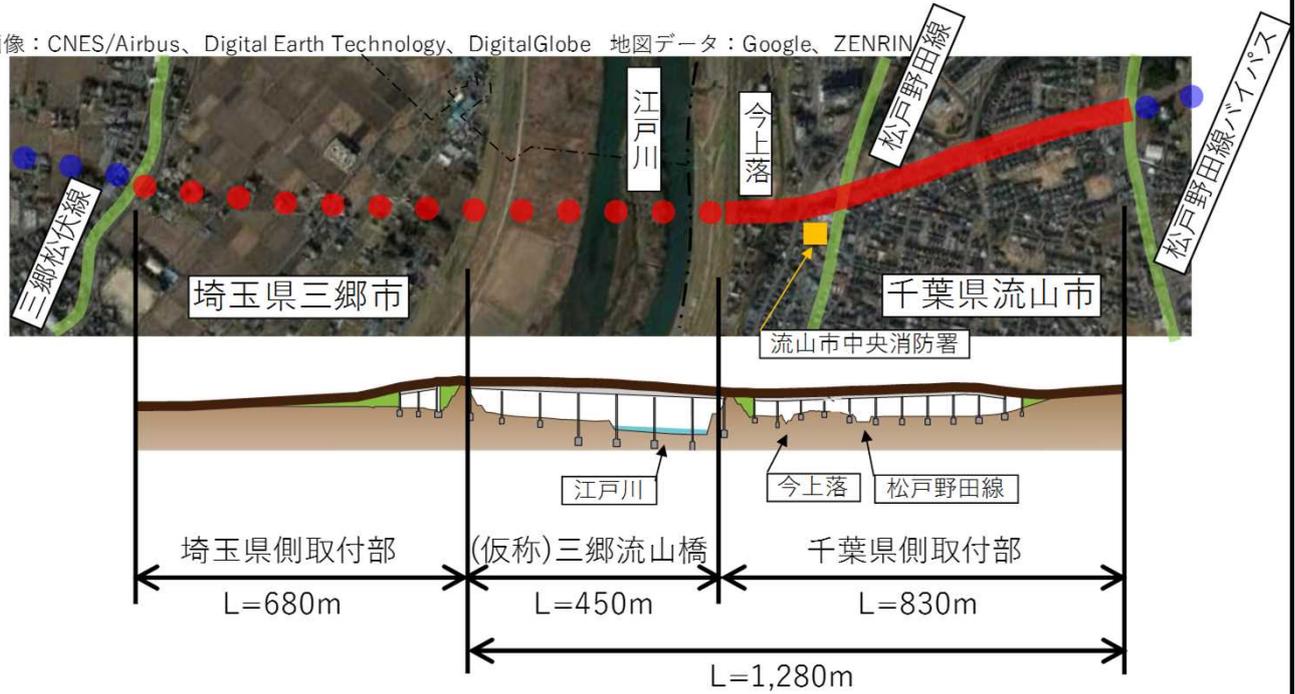


【標準断面図】



【平面図・側面図】

画像：CNES/Airbus、Digital Earth Technology、DigitalGlobe 地図データ：Google、ZENRIN



県道松戸野田線(現道)交差点付近



事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路改良)
路線名	主要地方道 境杉戸線
工事箇所	野田市 関宿台町 外

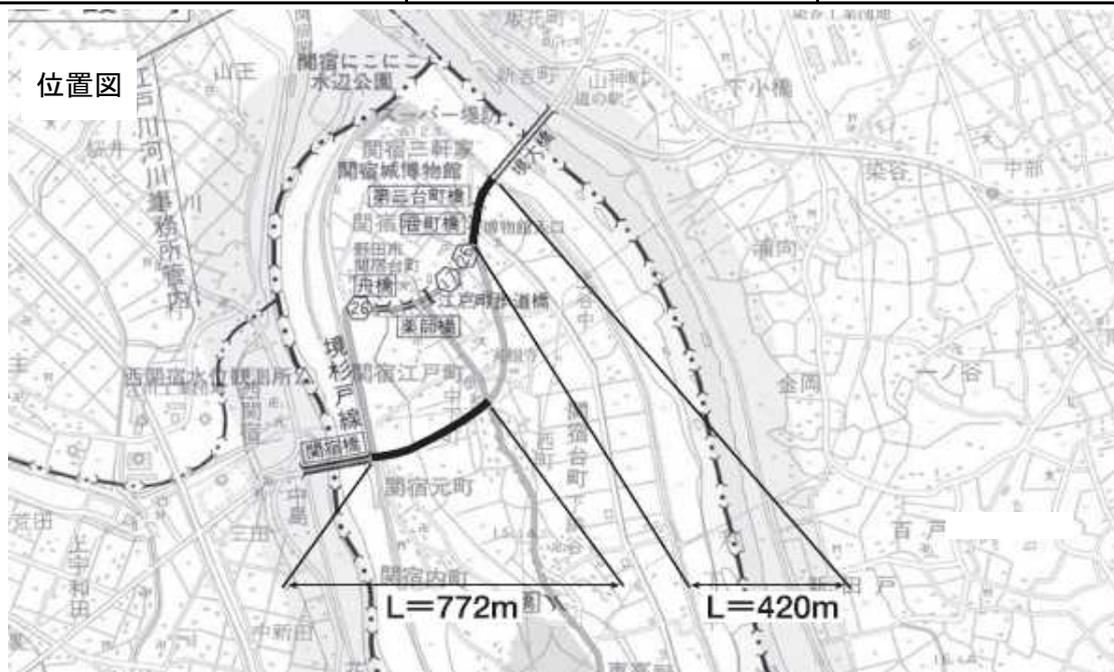
本路線は、北関東方面から千葉県西部地域及び首都圏方面に連絡する主要な幹線道路であり、千葉県緊急輸送道路2次路線に指定されている重要な道路である。

しかし、現道は屈曲しており幅員も狭いことから慢性的な交通渋滞が発生し、また、歩道が無いことから歩行者の安全が確保されていない状況である。

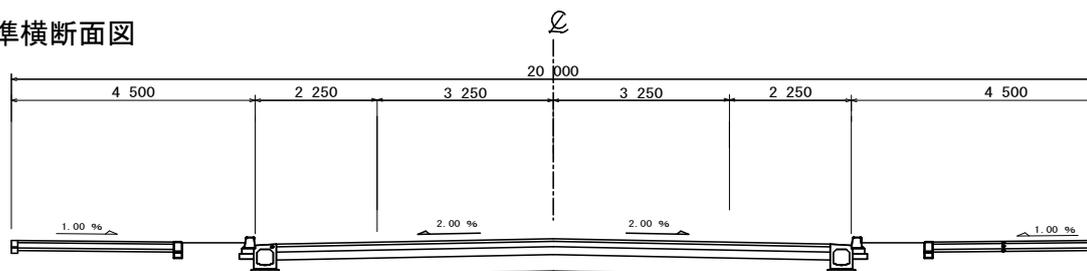
このため、既成市街地を迂回したバイパスを令和5年度中に開通させ、自動車交通の円滑化を図るとともに、歩行者の安全性の向上を図るものである。

計画概要

全体計画	令和3年度迄実施	令和4年度当初予算
事業延長 1,192m	事業費 1600百万円	事業費 304百万円
幅員 6.5m(20.0m)	路体盛土	路体盛土工
総事業費 1,740百万円		道路改良工
計画年度 平成16年度～		



標準横断面図



事業名	県単道路改良事業
路線名	一般国道464号 栗野バイパス
工事箇所	鎌ヶ谷市 初富 ~ 同市 栗野

本路線は、松戸市から鎌ヶ谷市を經由し、成田市へ至る一般国道であり、鎌ヶ谷市内においては、東西の交通軸を形成する重要な路線である。

栗野バイパスは、鎌ヶ谷市初富から同市栗野までの1.7kmを結び、鎌ヶ谷市中心部に集中する交通負荷の軽減を図り、周辺地域の利便性の向上を図るものである。

現在、バイパスの整備効果を早期に発現するため、北千葉道路の計画と整合を図りつつ、東側の1工区の整備を重点的に進めているところである。

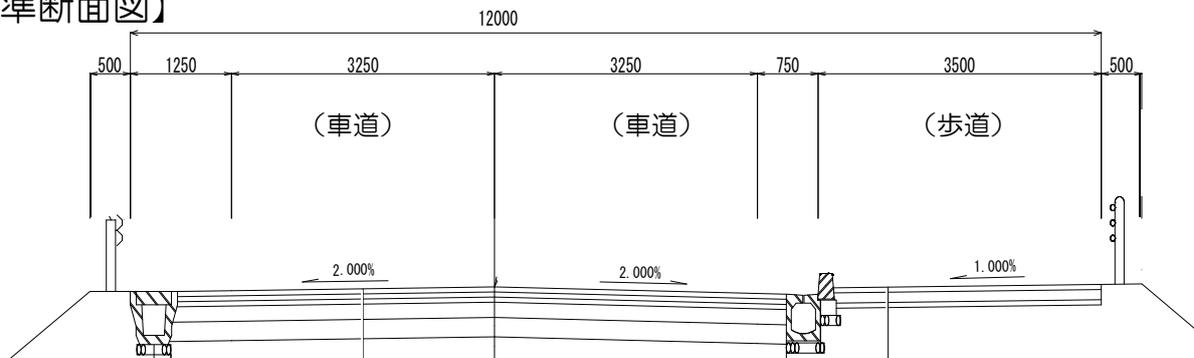
計画概要

全体計画	令和3年度迄実施	令和4年度当初予算
事業延長 800m	事業費 854百万円	事業費 100百万円
幅員 12.0~60.0m	調査	用地・補償
総事業費 1,350百万円	用地・補償	
計画年度 平成6年度~		

【位置図】



【標準断面図】



事業名	社会資本整備総合交付金事業(街路整備)
路線名	松戸都市計画道路3・4・16号 葛飾橋矢切線
工事箇所	松戸市 下矢切

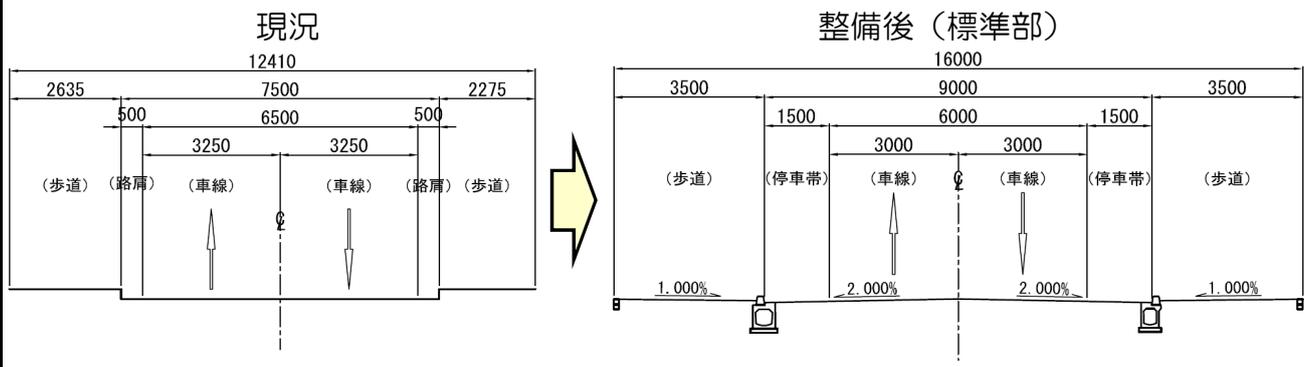
本路線は、松戸市南部と市川市北部を結ぶ県道市川松戸線と重用する都市計画道路である。本事業は、東京外環自動車道・松戸インターチェンジへアクセスする交通や矢切地区の生活交通を担い、緊急輸送道路第1次路線に指定されている県道を拡幅し、安全で円滑な交通の確保を図ることを目的とする。これまでに整備した、国道6号交差部から国道298号交差部までの1.2km区間に続き、北総鉄道・矢切駅までの間の整備を行うため、平成30年度に事業認可を取得したものである。

計画概要		
全体計画	令和3年度迄実施	令和4年度当初予算
事業延長 312m	事業費 325百万円	事業費 140百万円
幅員 16.0m	調査	用地・補償
総事業費 1,400百万円	用地・補償	
計画年度 平成30年度～		

【位置図】



【標準断面図】



【整備効果のイメージ】

整備前

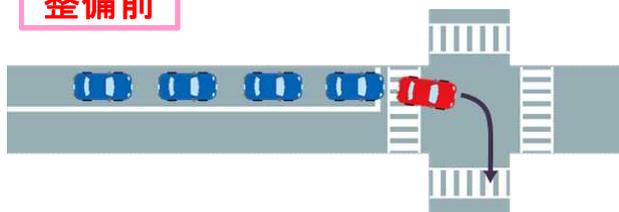


整備後

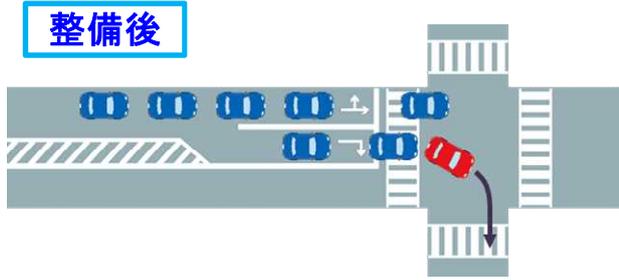


▲歩道整備済箇所(2工区)

整備前



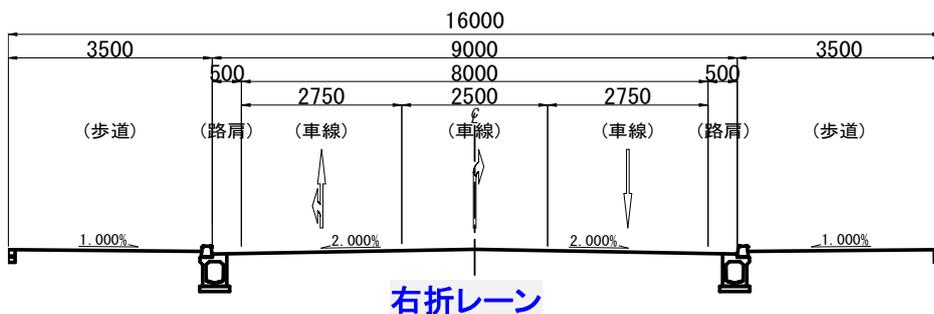
整備後



右折待ちによる後続車の進行阻害



右折レーンの設置により
 ・右折待ち車両による渋滞の緩和
 ・路線バスの定時性向上
 ・右折時の事故が減少



事業名	公共街路事業・社会資本整備総合交付金事業(街路整備)
路線名	野田都市計画道路 3・4・20号今上木野崎外2線
工事箇所	野田市 山崎

当該地区は南北に東武野田線が通過しており、国道16号に接続する市道は、踏切付近を中心として慢性的に渋滞が発生している。

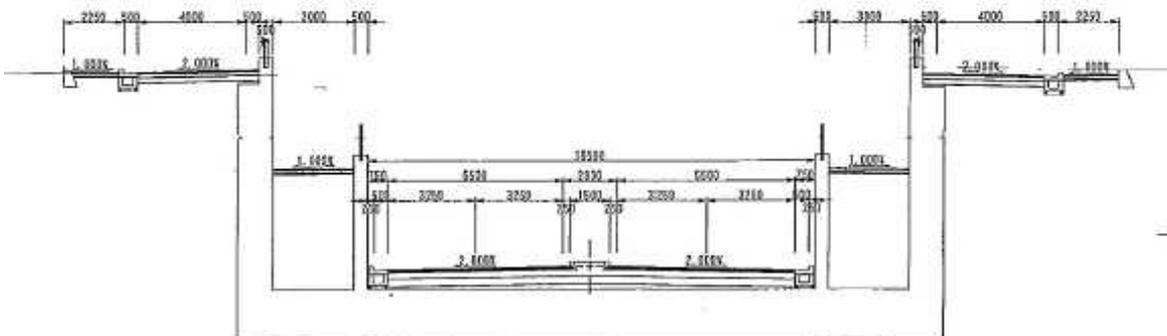
鉄道アンダーパスの整備により、埼玉県側から国道16号に向かう交通渋滞を緩和し、東西方向の道路容量を補強して円滑な交通処理を行い、市街地の交通円滑化及び東西方向の道路ネットワークの強化、さらには地域の環境改善に資することを目的とする。

計画概要

全体計画	令和3年度迄実施	令和4年度当初予算
事業延長 1,002m	事業費 2,429百万円	事業費 1,094百万円
道路延長 25～39m	調査・測量・設計	調査・測量・設計
総事業費 8,200百万円	用地・補償	用地・補償
計画年度 平成24年度～		



標準横断面図(立体交差部)



事業名	社会資本整備総合交付金事業(街路整備)
路線名	鎌ヶ谷都市計画道路3・4・5号 船橋我孫子バイパス線
工事箇所	鎌ヶ谷市 初富 ~ 同市 栗野

本路線は、鎌ヶ谷市の南北の交通軸を形成する県道船橋我孫子線をバイパスする約5kmの都市計画道路である。

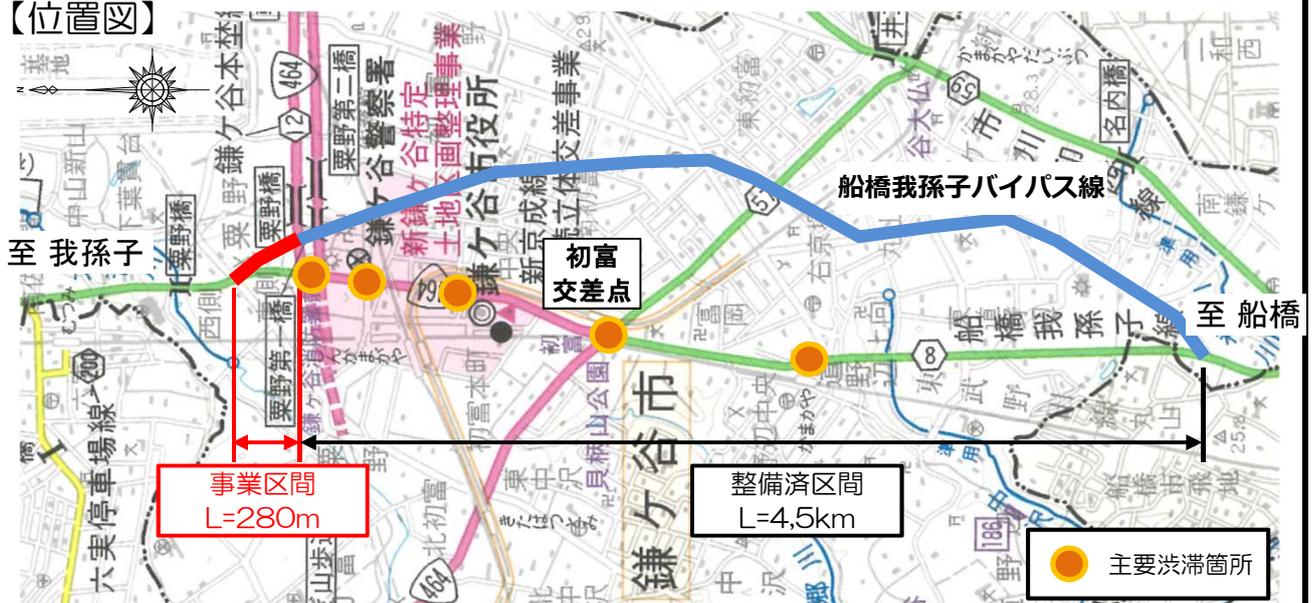
本事業は、現道との接続区間を県が都市計画事業認可を得て整備を推進するものである。

鎌ヶ谷市内の県道船橋我孫子線には、初富交差点をはじめとする主要渋滞箇所が連続して存在しており、早期の当該バイパス全線開通を図り、鎌ヶ谷市南北の交通円滑化と周辺地域の利便性の向上を図るものである。

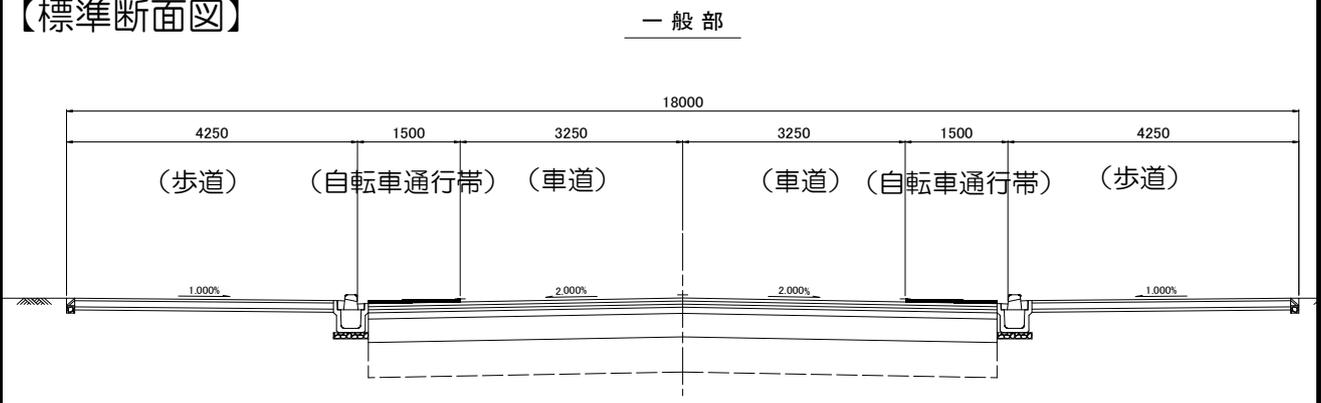
計画概要

全体計画	令和3年度迄実施	令和4年度当初予算
事業延長 280m	事業費 238百万円	事業費 82百万円
幅員 18m	調査	用地・補償
総事業費 1,007百万円	用地・補償	
計画年度 平成13年度～		

【位置図】



【標準断面図】



事業名	防災・安全交付金事業(歩道整備)
路線名	一般県道 白井流山線
工事箇所	松戸市 小金きよしヶ丘

当該箇所は松戸市北東部に位置し、沿道には商業店舗等が連担しており、背後には住宅地、小学校等が立地している。

本交差点(小金交番交差点)は、JR線北小金駅に隣接し、歩行者・自転車が 많이 にもかかわらず、歩道が狭いことから、歩行者と自転車が輻輳し危険な状態となっている。

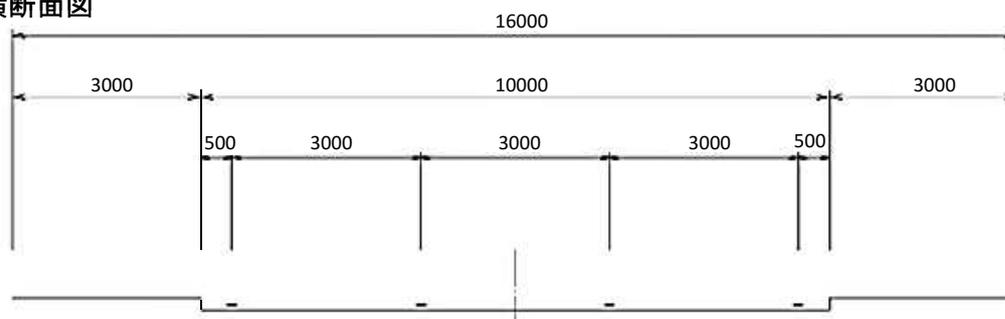
また、各方向とも右折レーンが未整備のため、右折車両による渋滞も発生していることから、歩道の整備及び右折レーンの設置を進め、歩行者・自転車の安全と円滑な交通の流れを確保し、交通事故の防止を図るものである。

計画概要

全体計画	令和3年度迄実施	令和4年度計画
事業延長 260m	事業費 790百万円	事業費 20百万円
幅員 7.0~10.0m (12.0~16.0m)	設計 用地・補償	歩道整備工 L=10m
総事業費 1,010百万円	本工事	
計画年度 平成20年度~		



横断面図



事業名	防災・安全交付金事業(交差点改良)
路線名	主要地方道 千葉鎌ヶ谷松戸線
工事箇所	鎌ヶ谷市 南初富

本地区は鎌ヶ谷市街部に位置し、沿道には商業店舗等が連担しており、背後には住宅団地、小学校等が立地している。

本路線は新京成電鉄と並行しており、駅利用者である歩行者・自転車の通行量が多いにもかかわらず歩道が狭く、また付加車線が未整備なため右折車両による渋滞が発生し、交差点付近での歩行者・自転車関連事故の要因となっている。

このため、歩道の整備及び右折レーンの設置によって事故防止と渋滞の緩和を図るものである。

計画概要

全体計画	令和3年度迄実施	令和4年度計画
事業延長 400m	事業費 2,990百万円	事業費 13百万円
幅員 6.5~9.5m (14.5~17.5m)	設計	交通量調査 一式
総事業費 3,850百万円	用地・補償	用地・補償 一式
計画年度 平成10年度~	本工事	



交差点改良計画図



事業名	県単交通安全対策事業(交差点改良)
路線名	主要地方道 船橋我孫子線 外
工事箇所	鎌ヶ谷市 初富本町

当該箇所は、国道464号、県道船橋我孫子線、県道千葉鎌ヶ谷松戸線が交差し、渋滞抑制のため、船橋我孫子線から右折不可の規制が設定されている。これにより市内の交通環境に大きな影響をあたえていることから、地元市から規制を解除する交差点改良を要望されている。本事業は、当該交差点に右折レーンと歩道整備を設けるなどの改良事業を進めるものである。

計画概要

全体計画	令和3年度迄実施	令和4年度計画
事業延長 550m	事業費 25百万円	事業費 58百万円
幅員 9.85~13.75m	設計	用地測量 一式
総事業費 225百万円	用地測量	用地・補償 一式
計画年度 平成30年度~		



交差点改良計画



事業名	防災・安全交付金事業(無電柱化)
路線名	一般県道 白井流山線
工事箇所	松戸市 小金

当該箇所は、一般国道6号との交差点からJR北小金駅までの960mであり、旧水戸街道にあたる。沿道には商店、及び住宅の中に史跡が建ち並ぶことから、安全かつ円滑な交通の確保し、かつ都市景観や都市防災の向上を図るとともに高度情報通信社会の早期実現に資するため、電線共同溝による電線類の地中化を図るものである。

計画概要

全体計画	令和3年度迄実施	令和4年度計画
事業延長 1,900m	事業費 221百万円	事業費 20百万円
総事業費 980百万円	本工事	管路工 L=66m
計画年度 平成16年度～	測量・設計	

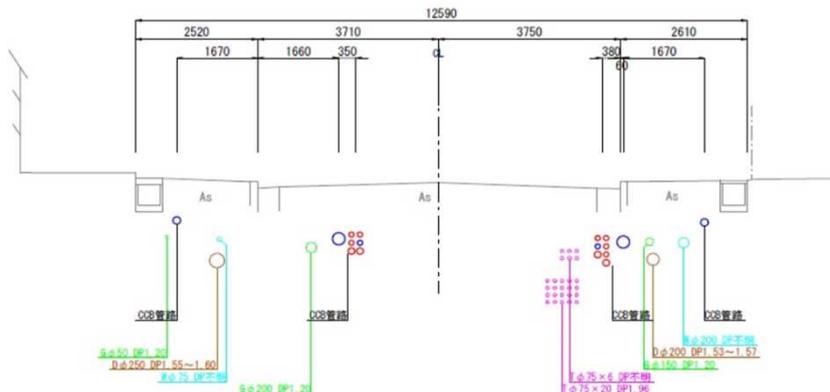
位置図



横断面図

管路部

No. 5付近



事業名	河川管理施設機能確保事業（河川メンテナンス事業）
路線名	一級河川利根川水系 坂川 外
工事箇所	柳原排水機場 外

本業務は、県が管理する排水機場や水門等の河川管理施設について、構成機器・部品の特性や点検結果による診断を踏まえた機器の健全度、設備区分レベル、社会への影響度、設置条件、機能の適合性及び経済性評価等を総合的に評価し、設備の信頼性と保全コストの低減を図るための技術的、経済的な両面から検討を行い、中長期的な計画に基づく機器の点検・整備・更新を実施することによって、施設の長寿命化及びライフサイクルコストの最小化を図ることを目的とする。

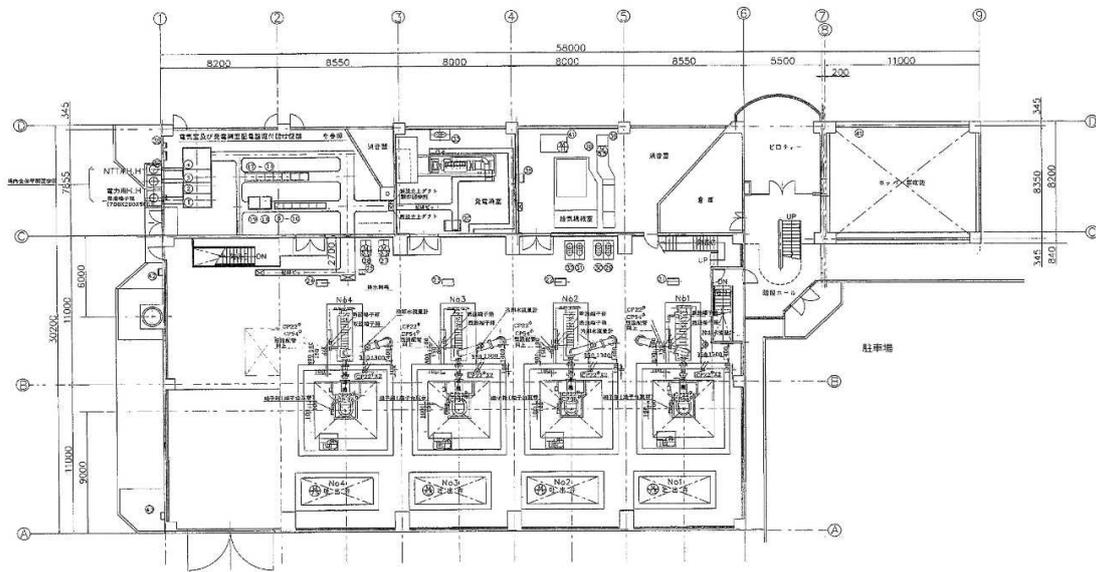
全体計画	令和3年度迄実施	令和4年度計画
総事業費 8,127百万円 計画年度 平成23～令和37年度	事業費 1,352百万円 主ポンプ駆動装置整備 定期点検	事業費 53百万円 除塵設備整備設計（座生川排水機場） 定期点検（各排水機場）

【位置図】



【平面図・現場状況】

座生川排水機場現場状況



【整備状況】



原動機整備



整備完了後